# 「お気に入りのテクニカル指標を表示させる-2-」

先月号の続きです。シート内容の変更方法を解説していきます。

8番シートを使います。



「機能」-「指標:	初期設定」-「シ	ート設定」を	クリクッします。
A 9984 ソフトバンクG	日足 東証一部・情報・	通信業 発行株:	2.089.814千巷

and the second se		
機能(1) 種別(2) パー(4)	前銘柄(5)	次銘柄(6) 読込(7) 画面(8) (
銘(丙テーブル(W)	Ctrl+W	350 0 ▼ Scale 厂 0 厂 権
指標(S)	Ctrl+S	▶ 105
印刷(内	Ctrl+P	4 安:6490 終:6523 前差:54
画面消去(E)	Ctrl+E	1
再描画(R)	Ctrl+R	
テキスト変換()	Ctrl+T	
目盛追加(M)	Ctrl+M	
テクニカル評価(こ	Ctrl+C	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
指標七変化(H) 💙	Ctrl+H	
指標初期設定	>	ジート設定 Ctrl+A
銘柄自動表示設定	Ctrl+X	表示設定 Ctrl+Z
業績表示	Ctrl+G	
読込	F8	
終了(Q)	Ctrl+Q	
A CONTRACTOR OF A CONTRACTOR OFTA CONTRACTOR O		

#### 「8」と入力し「OK」をクリックします。



8番シートの内容が表示されます。



移動平均線の周期を変更してみます。 4番目に登録してある移動平均線をダブルクリックします。

私指標初期設定画面(日足用) シート番号	: 0008				)	×
1相対力指数(RSD 2S相対力指数(SRSD 3出来高相対力指数(VRSD 4コスト相対力指数(CRSD 5サイコロジカルライン(PSY) 6VRの 7VRの	読込 編集 削除 コメント 2020年9月会報 3本移動平均線+M	保存 ACD	一覧		閉じる	5
8 SVR2 9 順位相関係数 10出来高順位相関係数 11.RCI(MPR・モーズル分析 < <sup>3</sup> %ー曲線) 12.STC(終値ベース %D S%D) 13.相対的弱気指数(パンレータ) 14.S相対的弱気指数(Sオシレータ) 15.カイリ度	No.         SNo.         表示させる指標           1         69         69権利落ち修正済みローソク           2         43         43移動平均線           3         43         43移動平均線           4         43移動平均線           5         73         73MACD	<u>周期</u> 0 周期1 5 1 25 1 75 1 5 20	周期2 0 0 9	<u>周期3</u>	周期4	周期
10.5/170度 17移動平均間カイリ度 18.5移動平均間カイリ度 19コストカイリ度 20.5コストカイリ度 21.林価弾性値 22コスト移動平均間カイリ度 23.Sコスト移動平均間カイリ度 24.M指標 25出来高移動平均間カイリ度 26.S出来高移動平均間カイリ度						Þ

「指標周期編集画面」が表示されます。

新指標周期編集画面	- 0 ×
変更 閉じる 「「重書き」	▼ 目盛合わせ
	厂 目盛表示
43.移動平均線	
	83
権利落 0.修正前 1.修正後	1
採用株価 0終 1高 2安	0
<b>华</b> 海绵 <b>小</b> 岛	
	00011000
75を200と入力し、「変更」をクリ	リックします。
A 指標周期編集画面	- E ×
	▼ 目盛合わせ
	厂 目盛表示
43.移動平均線	
- 周期入力画面	
梅利茨 0修正前 1修正後	200
採用株価 0終 1高 2安	

「指標周期編集画面」が消え、下記のように200となりました。



このままでは、まだ変更されてません。見た目だけ変更されてます。

「保存」をクリックし、

会 指標初期設定画面(日足用) → ト番号	1 0008	– 🗆 X
1相対力指数(RSD 2.S相対力指数(SRSD 3出来高相対力指数(VRSD 4コスト相対力指数(VRSD 5 サイコロジカルライン(PSY)	読込 編集 削除 保存	一覧 閉じる
7.VRØ 8.SVRØ	2020年9月会報 3本移動平均線+MACD	
9.順位相関係数 10.出来高順位相関係数	No. SNo. 表示させる指標 1 SO SO 特別共士修工法 20日、 105	周期2 周期3 周期4 周期
11.RCI(MPR・モーバ)小分析 ベワター曲線) 12.STC(終値ベース %D S%D)	2 43 43移動平均線 5 1	0
13相対的弱気指数(オシレータ) 14.S相対的弱気指数(Sオシレータ)	3         43         438動平均線         25         1           4         43         438動平均線         200         1	0
15力化度 16.S力化度	5 73 73.MACD 5 20	9 1
17移動平均間カイリ度 18.S移動平均間カイリ度		
19コストカイリ度 20.Sコストカイリ度		
21株価弾性値 22コスト移動平均間カイリ度		
23.Sコスト移動平均間力イリ度 24.M指標		
25出来高移動平均間カイリ度 26.S出来高移動平均間カイリ度		Þ

8番になっている事を確認して「OK」をクリックします。

指標初期設定シート保存確認画面	×
設定した項目をシートへ書き込みます。1~9999までの数字 を入力し、「OK」をクリックして下さい。※半角です。	ОК
	キャンセル
0008	

これで75→200の変更点が保存されました。

続けて表示です。保存した8番を再度読み込ませる必要があり、まず0をクリックしま す。



このように200日移動平均線が表示されました。



**ハイローバンドを追加するには、**「42. ハイローバンド」をダブルクリック



周期に15とし、重書き、目盛合わせにチェックを入れ、「登録」をクリックします。



そして「閉じる」をクリックし、ハイローバンドの画面を閉じます。

一番下に登録されました。

● 「「「「「「」」」 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	0008			<u></u> :		×
30出来高倍率1 31出来高倍率2 32新高値·新安値更新本数 33新値N本足(終値採用) 34時系列断値N本足(終値採用) 35力半足	読込 編集 削除	保存		一覧		閉じる
36時系列力ギ足 37線行足 38RJ指数 39リンイ&ロー 40字値字値領	No.         SNo.         表示させる指標           1         69	IACD	周期1	周期2	周期3	周期4 周期
41日均衡表 <u>42.)イ・ローハンド</u> 43.移動平均線	2         43         43移動平均線           3         43         43移動平均線           4         43移動平均線	5 25 200	1	0		
44 二入移動平均線(出来高加重) 45 複移動平均線 46 複石大移動平均線	5 73 73 MACD 6 42 42ハイ・ローバンド	5 15	20	9	1	
47価格示別出来高 48売買代金グラフ(株価×出来高) 49グランビルの法則表示 50期待危険係数(ORレシオ)						
51リスク度 52標準編差ボラティリティ 53ビストリカル・ボラティリティ(HV) 54株価位置 55出来高位置	٩					Þ

「登録」と「挿入」の違い

「登録」は、常に一番下へ登録します。

「挿入」は、色反転(カーソルが当たっている)している行の1つ上に登録されます。 「挿入」をクリックした場合、

200日移動平均線が色反転していましたので、その1つ上にこのように登録されます。

😪 指標初期設定画面(日足用) シート	番号:0008		<u></u>		×
30出来高倍率1 31出来高倍率2 32新高値・新安値更新本数 33新値N本足(終値採用) 34時分列新値N本足(終値採用)	読込     編集     削除       コメント	保存	一覧		閉じる
36 时天王 36 時天列力ギ足 37 績行足 38 RJ指数 90 LJ - 48 口一	2020年9月会報 3本移動平均線+1 No. SNo. 表示させる指標	/IACD	<b>割期1 周期2</b>	周期3 周	1期4 周期
<ul> <li>33)→1640</li> <li>40高値安値線</li> <li>41.→目均衡表</li> <li>42.)→1-0</li> <li>43.8約平均線</li> </ul>	1     69     69 権利落ち修正済みローンク       2     43     438動平均線       3     43     43移動平均線       6     42     42ハイローバンド	5 25 15	1 0		
44 121 移動平均線(出来高加重) 45 複移動平均線 46 複刀、移動平均線 47 価格帯別出来高	4 43 43移動平均線 5 73 73 MACD	200	1 0 20 9	1	
48売買代金グラフ(株価×出来高) 49.グランビルの法則表示 50期待危険(条数(ORレシオ) 51リスク度 51.リスク度					
ocaleギャーアンフィリティ 53ビストリカル・ボラティリティ(HV) 54株価位置 55出来高位置	~ <				Þ

この変更を表示させるには、先に解説した手順を踏みます。 「保存」をクリック→チャート画面で0→そして8をクリック ハイローバンドが追加で表示されました。



### 登録した指標を削除するには、

今回はMACDをクリックして「削除」をクリック、または、

祭 指標初期設定画面(日足用) シート番号:	0008					E	]	×
30 出来高倍率1 31 出来高倍率2 32 新高値·新安値更新本数 33 新値N本足(終値採用) 34 時系列新値N本足(終値採用) 35 時条列11 光足	読込 コメント 2020年9月	▲編集 削除 → 編集 削除 → 小 → 小 → 小 → 小 → 小 → 小 → 小 → 小 → 小 →	保存 IACD		一覧		即	5
87線行足 37線行足 38RJ指数 39ハイ&ロー 40高値安値線 41.──目均衡表	No. SNo. 1 69 2 43 3 43	表示させる指標 69.権利落ち修正済みローソク 43.移動平均線 43.移動平均線	<u>周期</u> 〇 5 25	<u>周期1</u> 1	<u>周期</u> 2 0	周期3	周期4	周期
43移動平均線 44コスト移動平均線(出来高加重) 45複移動平均線 46複コスト移動平均線	4         42           5         43           6         73	42.) イ・ローバンド 43.移動平均線 73.MACD	200 15 200	1 	0	1		
47.価格常別出来高 48.売買代金グラン(株価×出来高) 49.グランビルの注則表示 50.期待危険係数(ORレシオ) 51リスク度 52.標準備差ボラティリティ 53とストリカル・ボラティリティ(HV) 54.株価位置 55.出来高位置	•	7	14					

右クリックから削除をクリックです。

このように削除されました。

会 指標初期設定画面(日足用) シー	下番号:0008	- 🗆 X
30出来高倍率1 31出来高倍率2 32新高値・新安値更新本数 33新値N本足(終値採用) 34時系列新値N本足(終値採用)	読込     編集     削除     保存	一覧 閉じる
36刀キ定 36時系列力ギ足 37.續行足	2020年9月会報 3本移動平均線+MACD	
- 38RJ指数 - 39リイ&ロー - 40高値安値線	No.         SNo.         表示させる指標         周期0         周期           1         69         69権利落ち修正済みローソク5         5           2         43         43移動平均線         5	1 0
41.11日均衡表 42.ハイ・ローバンド	3 43 43移動平均線 25	1 0
43移動平均線 44コスト移動平均線(出来高加重) 45旗移動平均線	4         42         42/11イ・ローバンド         15           5         43         43移動平均線         200	1 0
46歳13人1移動平均線 46歳13人1移動平均線 47価格帯別出来高 48売買代金グラブ(株価×出来高) 10グランビルの公共見ます		
43/2 フレルの大型(18/17) 50期(合た)(係数(ORレシオ) 51リスク度 52標準偏差ボラティリティ		
53ヒストリカル・ボラティリティ(HV) 54.株価位置 55出来高位置	* <b>4</b>	-

## 順位相関係数と相対力指数を表示させる2つの方法

MACDを削除した後、続けて順位相関係数を登録します。

会 指標初期設定画面(日足用) シート番号	: 0008	- 🗆 X
1相対力指数(RSD 2.S相対力指数(RSD 3出来高相対力指数(SRSD 4コスト相対力指数(CRSD 5サイコロジカルライン(PSY)	読込     編集     削除     保存	一覧閉じる
ĨVRØ	2020年9月会報 3本移動平均線+MACD	
	No. SNo. 表示させる指標 / 周期O / J	割期1 周期2 周期3 周期4 周期
10 二米(mmutal)(米秋 11.RCI(MPR・モーメント分析 ヘウター曲線)	1 69 69権利落ち修正済みローソク     2 43 43移動平均線     5	1 0
12.310(総通ヘース 360 3960) 13.相対的弱気指数(オンレータ)	3 43 43移動平均線 25	1 0
14.511111155元1日朝(5-7ンレージ) 15カイリ度 14.515ノリ度	4 42 42ハイ・ローハンド 15 5 43 43移動平均線 200	1 0
16.5月4月度 17.移動平均間力イリ度 19.584年に指用力イリ度		
16.5後朝千均間かり度 19コストカイリ度		
20.3コストリイリ度 21株価弾性値 29.コスト教会の実体開力(1度		
22日本に移動する同力化り度 23.5日本移動平均間力イリ度 24.5日本		
20.3出来向移動十均面力19度		Þ

9. 順位相関係数をダブルクリックします。

周期は9、目盛表示のみチェックをいれ「登録」をクリック、そして「閉じる」

登録	閉じる	「重書き		目盛合わせ 目盛表示:	1
挿入			e e		J
9.順位村	関係数				
周期入力画	面			7.5	-
周期入力				9	
採用株価[	[0]終 [1]始 [2]	高 [3]安		0	-
				<b>I</b> *	
					_

一番下に登録されます。

 $\sim$ 

● 指標初期設定画面 (日足用) シート番号:	0008			<u></u> :		×	
1相対力指数(RSD 2.S相対力指数(SRSD 3出来高相対力指数(VRSD 4コスト相対力指数(CRSD 5サイコロジカルライン(PSY)	読込 編集 削除 コメント	保存		一覧		閉じる	-
8.SVRQ	2020年9月会報 3本移動平均線+M	ACD					
9.順位相對係数 10.出来高順位相関係数 11.RCI(MPR)モーバト分析、物一曲線) 12.STC(終値ベース%D_S%D) 13.相対的弱気指数(オシレータ) 14.S相対的弱気指数(Sオシレータ) 15.5カイリ度 16.Sカイリ度 17.移動平均間カイリ度	No.         SNo.         表示させる指標           1         69         69 権利落ち修正済みローソクに           2         43         43移動平均線           3         43         43移動平均線           4         42         42ハイ・ローバンド           5         43         43移動平均線           6         9         9.順位相関係数	<u>周期</u> 〇 5 25 15 200 9	<u>周期1</u> 1 1 1	周期2 0 0 0	周期3	周期4 周	
10.5移動平均間力イリ度 19コストカイリ度 20.Sコストカイリ度 21.株価弾性値 22コスト移動平均間カイリ度 23.Sコスト移動平均間カイリ度 24.M指標 25.出来高移動平均間カイリ度 26.S出来高移動平均間カイリ度	<						•

続けて相対力指数を登録します。

周期は14、重書き、目盛合わせにチェックを入れ、色は赤にしました。 「登録」→「閉じる」をクリックします。

≫ 指標周期設	定画面		<u>1111</u>	121	×
登録 挿入	閉じる	ち客重 マ		盛合わせ  盛表示	t
<b>1.相対力</b> ─周期入力画配 ─周期入力	] <mark>指数(</mark> RS] □	D)		14	-13
指標線の色				255	

#### 一番下に登録されます。

● 指標初期設定画面 日足用) シート番号:	0008			<u></u> 2		3	×
1/相対力指数(RSD 2.S相対力指数(SRSD 3出来高相対力指数(VRSD 4 コスト相対力指数(CRSD 5.サイコロジカルライン(PSY) 6.VR① 3.VR②	読込 編集 削除 コメント 2020年9月会報 3本移動平均線+M	保存 IACD		一覧		閉じ	3
<ul> <li>8.5VR②</li> <li>9.順位相関係数</li> <li>10.出来高順位相関係数</li> <li>11.RCIKMPR・モット分析 &lt; 物一曲線)</li> <li>12.STC(終値ベース %D S%D)</li> <li>13相対的弱気指数(オシレータ)</li> <li>14.S相対的弱気指数(Sオシレータ)</li> <li>15カイリ度</li> <li>16.Sカイリ度</li> <li>18.S約平均間カイリ度</li> <li>18.S数執平均間カイリ度</li> </ul>	No         SNo.         表示させる指標           1         69         69権利落ち修正済みローソク!           2         48         43移動平均線           3         43         43移動平均線           4         42         42x1イ・ローバンド           5         43         43移動平均線           6         9         9順位相関係数           7         1         1	周期O 5 25 15 200 9 14	周期1 1 1 1 0	周期2 0 0	周期3	周期4	周期
19 コストカイリ度 20 Sコストカイリ度 21 株価弾性値 22 コスト移動平均間カイリ度 23 Sコスト移動平均間カイリ度 24 M指標 25 出来高移動平均間カイリ度 26 S出来高移動平均間カイリ度	•						Þ

表示させますので先に解説した手順です。 「保存」をクリック→チャート画面で0→そして8をクリック

#### このように表示されます。



#### 表示の意味

最初に順位相関係数を登録したので、上下のレンジが100から-100となります。 順位相関係数は100から-100の間を動く指標なので。

![](_page_11_Figure_4.jpeg)

次に相対力指数を登録しました。この時、目盛り合わせにチェックを入れました。

相対力指数は、100から0の範囲を動く指標なので、このように上半分の間での表示 となります。

相対力指数も上半分ではなく、大きく表示させたい場合はこのようします。

# 相対力指数を変更しますので、ダブルクリック

😪 指標初期設定画面(日足用) シート番号	÷ 0008			<u></u> 2		×	
1相対力指数(RSD 2.S相対力指数(SRSD) 3出来高相対力指数(VRSD) 4コスト相対力指数(VRSD) 5 サイコロジカルライン(PSY) 6 VR(D 7 VR(2)	読込 編集 削除 コメント 2020年9月会報 3本移動平均線+M	保存 1ACD		一覧		閉じる	> ]
8.SVF2 9.順位相関係数 10.出来高順位相関係数 11.RCI(MPR-モーズ)分析 ^ ウター曲線) 12.STC(終値ペース 96D S%D) 13.相対的弱気指数(オンレータ) 14.S相対的弱気指数(Sオンレータ) 15.DイU度 16.SDイU度 16.SDイU度 17.移動平均間力イU度 19.S2教品で物問してUE	No. SNo. 表示させる指標 1 69 69 権利落ち修正済みローング 2 43 43 移動平均線 3 43 43 移動平均線 4 42 42 ハイ・ローノンド 5 43 43 移動平均線 6 9 9 順位相関係数 1 1 4日対力12数 (PSD)	<u>周期</u> 0 5 25 15 200 9	<u>周期1</u> 1 1 1	<u>周期2</u> 0 0	周期3	周期4原	聊
10-37年前17月7月度 19-3天下力-10度 20.Sコストカ-イリ度 21.株価弾性値 22-コスト移動平均間カイリ度 24.M指標 25.出来高移動平均間カイリ度 26.S出来高移動平均間カイリ度							•

重書きと目盛り表示にチェックを入れ変更をクリック。

#### ※目盛合わせにはチェックを入れません。

😪 指標周期編集画面			×
変更 1.相対力指数(RSI)		盛合わせ 盛表示	
┌周期入力画面			
周期入力		14	
			-
			-
			-
			-
			-
指標線の色	1	265	

表示させますので先に解説した手順です。 「保存」をクリック→チャート画面で0→そして8をクリック

このように相対力指数も上半分ではなく、大きく表示されました。

![](_page_13_Figure_1.jpeg)

上下のレンジが違う指標を登録する場合は、目盛り合わせにはチェックを入れないほう がよい場合もあります。

例えば、相対力指数とカイリ度とかです。カイリ度は、一応上下が決まっていませんの で、目盛り合わせにチェックを入れた場合、切れてしまいます。

基本は、同じレンジで動く指標については、目盛り合わせにチェックを入れる。 例えば、相対力指数とサイコロジカルライン

似たような指標の場合も目盛り合わせにチェックを入れる。 例えば、カイリ度と株価弾性値

カイリ度と株価弾性値を同時に表示させる場合のコツは、上下に大きく動く指標をまず 登録し、その後にそれより上下に動かない指標を登録します。

例えば、カイリ度とSカイリ度です。

Sカイリ度はスムージングしていますので、なめらかな線を描きます。その分、カイリ 度より上下の振幅がありません。

よって、カイリ度を先に登録し、続けてSカイリ度を登録します。

順位相関係数の周期9と周期20を登録する場合、どちらを先に登録しても構いません。 同じ指標であり、100から-100と振幅が決まっていますので。